

長崎県立高等学校教育改革 第 4 次 実 施 計 画



平成 2 0 年 3 月 1 9 日
長 崎 県 教 育 委 員 会

目 次

長崎県立高等学校教育改革第4次実施計画の策定について	1
《1》県立高等学校の再編整備	2
《2》工業高校における学科新設	3
第4次実施計画総括表	4

長崎県立高等学校教育改革第4次実施計画の策定について

長崎県教育委員会は、県立高等学校教育の改革や適正配置等に関する基本的な考え方を示した「長崎県立高等学校改革基本方針」（計画期間：平成13～22年度、以下「基本方針」という。）に基づき、平成14年2月に「第1次実施計画」を、平成15年4月に「第2次実施計画」を、平成17年3月に「第3次実施計画」をそれぞれ策定し、中学生の主体的な学校選択を促す諸制度の改善や社会の変化等に対応した教育内容の充実、新しいタイプの学校の設置など新たな教育システムの整備を図るとともに、時代の要請等に対応した専門学科の改編等や、県立高等学校の再編整備を進めている。

今回策定した「第4次実施計画」は、生徒減少が進む中で生徒にとって望ましい学習環境や活力ある教育環境を整え、高等学校の教育水準の維持・向上を図るための「県立高等学校の再編整備」、並びに産業界からの需要に応えるとともに本県の企業誘致を促進し製造業（ものづくり）を支える人材の育成を図るための「工業高校における学科新設」について、平成21年度から平成22年度に実施する施策をまとめたものである。

県教育委員会及び各高等学校においては、これら諸施策に適切に対応するとともに、時代の進展に対応した教育内容の充実や教育課程の工夫・改善に取り組むこととする。

なお、県教育委員会においては、21世紀の本県の将来を担う人材を育む高等学校づくりを推進するにあたり、平成20年度に第二期長崎県高校改革推進会議（仮称）を設置し、広く県民各界からの意見をいただきながら、現在の「基本方針」に続く平成23年度以降の高校改革のあり方をまとめることとしている。

〈1〉県立高等学校の再編整備

本県の中学校卒業生数は、昭和39年3月の49,141人を最高に減少傾向にあり、「基本方針」を策定した際に基準とした平成12年3月の20,955人から平成19年3月までの7年間で約4,600人が減少している。この傾向は今後も続き、現在の小学校1年生が卒業する平成28年3月には13,500人程度と予想され、平成19年3月から今後9年間で約2,800人の減少が見込まれている。

このような生徒数の減少に対し、学級数を減らす方法だけでは、より多くの小規模な高等学校が生じることとなり、配置教員数の減によって開設科目数が制限され生徒の多様な学習要望や進路希望に対応できにくくなることや、集団の中での切磋琢磨や相互啓発の機能が低下し学習意欲が育ちにくいことなどが懸念される。

このため、

生徒の学習要望等に応じた多様な教科・科目の設定など、選択幅の広い教育課程の
編成

学校行事や特別活動等の効果的な実施・展開

生徒同士の切磋琢磨や社会性の育成に十分な集団規模の形成

適正な学校運営の推進

などの観点から、適正な学校規模の基準である1学年4～8学級を基本に、生徒にとって望ましい学習環境や活力ある教育環境を整え、高等学校における教育水準の維持・向上を図るため、小規模の県立高等学校について次のとおり再編整備を行うこととする。

平成21年度から募集停止（平成23年3月閉校）

野母崎高等学校（普通科・1学年2学級）

富江高等学校（普通科・1学年2学級）

松浦東高等学校（食品科学科、商業科・各1学年1学級）

平成22年度から募集停止（平成24年3月閉校）

猶興館高等学校大島分校（普通科・1学年1学級）

（同校における離島留学制度についても同様に募集を停止する。）

*募集停止に伴い、地域内の他の高校において教育内容の工夫を行うなど、生徒の受入体制を整備する。

〈 2 〉 工業高校における学科新設

本県の専門高校においては、産業構造の変化や科学技術及び国際化・情報化等の進展に対応するため、これまで教育内容の改善や学科改編等を必要に応じて行ってきた。特に第2次・第3次実施計画においては、本県における産業構造・就業状況等の変化や生徒の多様化に対応するための人材育成のあり方、各専門学科の構成・県内各地域での配置状況等について検討し、生徒の多様な進路希望等に対応できる専門教育を県内全域で行う観点から、教育内容が類似した学科の統合を含む改編、新しいタイプの学科の設置、総合学科への改編などを行ってきた。

そういう中で、最近の専門高校における就職状況は緩やかに好転しつつあり、とりわけ製造業（ものづくり）への人材需要の増大から、工業高校卒業生への求人は飛躍的に増加している。県内においては、工業団地の整備が進む県央地区において新たに進出する企業が増加しており、九州北部に展開する自動車関連産業などの誘致を視野に入れ、自動化された生産システムなど最新の施設・設備に対応できる実践的な技術者の育成が急務となっている。

今回、こうした技術革新の進展に伴う産業界からの要請に応えるとともに、製造業（ものづくり）を支える積極的な人材育成を推進するため、企業立地が進む県央地区に次のとおり学科を新設する。

大村工業高等学校 （平成21年度）	学科新設 機械システム科（1学年1学級）
------------------------------------	---------------------------------------

長崎県立高等学校教育改革第4次実施計画(総括表)

1 実施計画の概要

平成13年2月に策定した「長崎県立高等学校改革基本方針」に基づき、平成21～22年度に実施する施策をまとめたもの。

2 実施計画の内容

《1》県立高等学校の再編整備

生徒減少の中で生徒にとって望ましい学習環境や活力ある教育環境を整え、高等学校における教育水準の維持・向上を図るため、小規模の県立高等学校の再編整備を行う。

項目	学校名	平成21年度	平成22年度	平成23年度
閉校	(平成23年3月閉校) 野母崎高等学校 富江高等学校 松浦東高等学校	} 募集停止	----->	
	(平成24年3月閉校) 猶興館高等学校大島分校		募集停止	----->

《2》工業高校における学科新設

産業界からの需要に応えるとともに、本県の企業誘致を促進するため、製造業(ものづくり)を支える人材育成を図る。

大村工業高等学校 (平成21年度)	機械科(2)、電気科、電子工学科、建築科、化学工学科、建設工業科 機械科(2)、電気科、電子工学科、建築科、化学工学科、建設工業科、 <u>機械システム科(新設)</u>
----------------------	---

(注)「機械科」のみ1学年2学級で他の学科は1学級

「長崎県立高等学校教育改革第4次実施計画」

長崎県教育委員会 総務課 高校改革推進室

〒850-8570 長崎市江戸町2 - 1 3

TEL 095-894-3317 FAX 095-894-3470

ホームページ <http://www.pref.nagasaki.jp/edu/>